

## 【 臨床研究に関する情報の公開 】

子宮がんで当院を受診された患者さまの試料・情報を用いた医学系研究に対する  
ご協力のお願について

項 目	内 容
1. 研究課題名	子宮がん患者の放射線治療における羞恥心低減への試み
2. 研究の対象者	2018年12月1日から2021年7月31日の間に、当院のリニアック科において子宮がんで放射線治療を着衣で受けられた方
3. 研究期間	2021年 7月 26日 ～ 2022年 2 月 28日
4. 研究実施体制と研究責任者	研究実施箇所：関西電力病院 外来 研究責任者： 看護部 外来師長 大田和美
5. 本研究の意義・目的	子宮がんの放射線治療は骨盤部への照射となり、治療時の着衣は放射線の減衰に繋がることから下半身の露出を余儀なくされ、羞恥心への配慮が必要である。しかし着衣照射は少なく、子宮がん患者対象の着衣照射の研究は少ない。治療に影響を与えないような着衣での照射を試みたことを報告することで、放射線治療や看護の示唆となる
6. 研究の方法	着衣照射の試みのプロセスと着衣による骨盤前照射を受けられた患者のカルテより、患者の羞恥心への思いや言動を抽出し、また関わった医療者から患者の言動を聴取し、羞恥心の低減が図れたか評価する
7. 研究に用いる試料・情報の種類	カルテより患者の言動を情報収集し、医療者より患者の様子などを聞き取り調査を行う
8. 試料・情報の保管方法と廃棄方法	全てのデータは、ハードディスクに保存せず、認証機能付きUSBフラッシュメモリーに保存する。研究参加者のカルテからのデータは、施錠のできる棚で厳重に保管し、必要時以外は持ち出さない。収集したデータについては、研究終了を報告した日から5年、または研究結果を最後に公表した日から3年のいずれか遅い日まで保管する。収集したデータは、バックアップの作成により再利用可能な形で保存し、保管期間終了後はデータの削除や記録メディアを物理的に破棄する。
9. 個人情報の保護について	研究対象は、研究参加の辞退が可能であること、研究に参加をしない場合にも、医療行為に対しての不利益を一切及ぼさないことを約束する。また研究参加者のデータや記録媒体は施錠できる場所に保管する。研究を学内や学会などで発表する場合、個人が特定されないよう、個人情報の保護につとめる。
10. 情報管理責任者	関西電力病院 看護部 外来師長 大田和美
11. 問い合わせ・苦情等の窓口	〒553-0003 大阪市福島区福島2丁目1番7号 関西電力病院 看護部 中山 美紀 電話：06-6458-5821（代表）